

資 料

1. 調査団員氏名、所属
2. 調査日程
3. バングラデシュ国関係者リスト
4. LGEDガジプール県資材置き場
5. バングラデシュ国社会・経済事情
6. 要請橋梁の基本データ（第1次現地調査結果）
7. 架設工法概念図
8. 参考資料リスト
9. バングラデシュ人民共和国政府負担分概算経費

資料 1 . 調査団員氏名、所属

資 料

1. 調査団員氏名、所属

1) 第1次現地調査時

木 邨 洗 一	総 括	国際協力事業団 Bangladesh 事務所 次長
片 井 啓 司	計画管理	国際協力事業団無償資金協力 準備室 業務第3グループ
三 浦 実	業務主任／道路 交通計画	株式会社 片平エンジニアリング・インターナショナル
村 本 康 昭	橋梁計画・設計Ⅰ	株式会社 片平エンジニアリング・インターナショナル
平 岡 一 幸	橋梁計画・設計Ⅱ	株式会社 片平エンジニアリング・インターナショナル
村 上 啓 一	橋梁計画・設計Ⅲ	株式会社 片平エンジニアリング・インターナショナル
西 村 満 治	自然条件調査Ⅰ (地 形)	株式会社 パスコインターナショナル
相 良 秀 孝	自然条件調査Ⅰ (水 文)	株式会社 片平エンジニアリング・インターナショナル (自社補強)
佐 藤 正	施工計画／積算	株式会社 片平エンジニアリング・インターナショナル (自社補強)

2) 第2次現地調査時

今 津 武	総 括	国際協力事業団無償資金協力調査部長
片 井 啓 司	計画管理	国際協力事業団無償資金協力調査部 調査第2課
三 浦 実	業務主任／道路 交通計画	株式会社 片平エンジニアリング・インターナショナル
村 本 康 昭	橋梁計画・設計Ⅰ	株式会社 片平エンジニアリング・インターナショナル
平 岡 一 幸	橋梁計画・設計Ⅱ	株式会社 片平エンジニアリング・インターナショナル
村 上 啓 一	橋梁計画・設計Ⅲ	株式会社 片平エンジニアリング・インターナショナル (自社補強)
西 村 満 治	自然条件調査Ⅰ (地 形)	株式会社 パスコインターナショナル
相 良 秀 孝	自然条件調査Ⅰ (地 質)	株式会社 片平エンジニアリング・インターナショナル
山 田 清 蔵	自然条件調査Ⅰ (水 文)	株式会社 片平エンジニアリング・インターナショナル
佐 藤 正	施工計画／積算	株式会社 片平エンジニアリング・インターナショナル

3) 基本設計概要説明時

木 邨 洗 一	総 括	国際協力事業団 Bangladesh 事務所 次長
三 浦 実	業務主任／道路 交通計画	株式会社 片平エンジニアリング・インターナショナル
村 本 康 昭	橋梁計画・設計 I	株式会社 片平エンジニアリング・インターナショナル
佐 藤 正	施工計画／積算	株式会社 片平エンジニアリング・インターナショナル

資料 2. 調 査 日 程

2. 調査日程

1) 第一次現地調査時（平成11年9月2日～10月24日）

日順	月 日	項 目
1	9月2日（木）	・相良秀孝、佐藤 正 東京発バンコク着
2	9月3日（金）	・2名バンコク発ダッカ着 ・ローカルコンサルタントと打合せ
3	9月4日（土）	・三浦 実 東京発バンコク着 ・サイト状況調査準備
4	9月5日（日）	・三浦 実 バンコク発ダッカ着
5	9月6日（月）	・片井啓司、村本康昭、平岡一幸、村上啓一、西村満治 東京発バンコク着 ・JICA現地事務所と打合せ
6	9月7日（火）	・5名バンコク発ダッカ着 ・JICA現地事務所、在日本大使館と打合せ
7	9月8日（水）	・ERDおよびLGEDへ表敬 ・LGEDと協議
8	9月9日（木）	・サイト状況調査オリエンテーション（ダッカ県）
9	9月10日（金）	・A、Bの2チームによるサイト状況調査開始
10	9月11日（土）	・団内打合せ
11	9月12日（日）	・協議議事録提出 ・片井啓司 ダッカ発シンガポールへ
12～ 13	9月13日（月） ～14日（火）	・全国ゼネラル・ストライキ（13日～15日） ・サイト状況調査チームおよびダッカの団員は宿舎に待機
14	9月15日（水）	・三浦 実、佐藤 正 ダッカ発バンコク着 ・サイト状況調査チームは宿舎に待機
15～ 33	9月16日（木） ～10月4日（月）	・サイト状況調査 ・全国ゼネラル・ストライキ（10月3日） ・三浦 実、佐藤 正 東京発バンコク着（10月4日）
34	10月5日（火）	・三浦 実、佐藤 正 バンコク発ダッカ着
35	10月6日（水）	・JICA現地事務所へ進捗状況報告 ・LGEDと打合せ

日順	月 日	項 目
36	10月7日(木)	・ガジプール県調査(鋼材搬入現場の確認)
37～ 44	10月8日(金) ～10月15日(金)	・サイト状況調査結果取りまとめ ・関連資料収集
45～ 47	10月19日(土) ～10月18日(月)	・計画対象橋梁選定案作成
48	10月20日(火)	・LGEDへサイト状況調査結果報告 ・JICA現地事務所へ調査結果概要報告
49	10月21日(水)	・団内打合せ
50	10月21日(木)	・全国ゼネラル・ストライキ ・帰国準備
51	10月22日(金)	・村本康昭、平岡一幸、村上啓一、西村満治、佐藤 正 ダッカ発バンコク着
52	10月23日(土)	・5名 バンコク発東京着 ・三浦 実 ダッカ発バンコク着
53	10月24日(日)	・三浦 実 バンコク発東京着

2) 第2次現地調査時 (平成11年11月21日～平成12年1月9日)

日順	月 日	項 目
1	11月21日 (日)	・片井啓司、三浦 実、村本康昭、平岡一幸、村上啓一、西村満治、相良秀孝、佐藤 正 東京発バンコク着
2	11月22日 (月)	・8名バンコク発ダッカ着 ・JICA現地事務所と打合せ
3	11月23日 (火)	・在日本大使館、ERD、LGRD&C、LGED表敬、打合せ
4	11月24日 (水)	・自然条件調査
5	11月25日 (木)	・LGEDと中間報告書の説明・協議 ・山田清蔵 ダッカ着
6	11月26日 (金)	・今津 武 ダッカ着
7	11月27日 (土)	・自然条件調査開始
8	11月28日 (日)	・ERD表敬 ・合同ミーティング、ミニッツ署名
9	11月29日 (月)	・JICA現地事務所、在日本大使館へ報告 ・今津 武、片井啓司 ダッカ発シンガポールへ
10 } } 31	11月30日 (火) } } 12月21日 (火)	・自然条件調査 12月21日終了 ・全国ゼネラル・ストライキ (12月5日、6日、13日、18日) ・村上啓一 12月12日 ダッカ発 ・山田清蔵 12月17日 ダッカ発
32 } } 44	12月22日 (水) } } 1月3日 (月)	・第2次現地調査結果とりまとめ ・全国ゼネラル・ストライキ (1月3日)
45	1月4日 (火)	・LGEDへ調査結果概要報告
46	1月5日 (水)	・祭日 ・資料整理
47	1月6日 (木)	・JICA現地事務所へ調査結果概要報告
48	1月7日 (金)	・祭日 ・資料整理
49	1月8日 (土)	・三浦 実、村本康昭、平岡一幸、西村満治、相良秀孝、佐藤 正 ダッカ発バンコク着
50	1月9日 (日)	・6名 バンコク発 東京着

3) 基本設計概要説明調査（平成12年3月6日～3月14日）

日順	月 日	項 目
1	3月6日（月）	・三浦 実、村本康昭、佐藤 正 東京発バンコク着
2	3月7日（火）	・3名バンコク発ダッカ着 ・JICA現地事務所、在日本大使館と打合せ
3	3月8日（水）	・ERD、LGRD&C、LGED表敬打合せ
4	3月9日（木）	・LGEDと概要書の説明・協議
5	3月10日（金）	・団内打合せ
6	3月11日（土）	・団内打合せ
7	3月12日（日）	・合同ミーティング、ミニッツ署名 ・JICA現地事務所、在日本大使館へ報告
8	3月13日（月）	・三浦 実、村本康昭、佐藤 正 ダッカ発バンコク着
9	3月14日（火）	・3名バンコク発東京着

資料 3. バングラデシュ国関係者リスト

3 バングラデシュ国 関係者リスト

Economic Elation Division (ERD), Ministry of Finance: (大蔵省)

Mr. Uddin	Joint Secretary
Mr. Md. Emran	Sr. Assistant Secretary
Mr. Shinichiro Omote	JICA Expert

Physical Infrastructure Division, Planning Commission: (計画委員会)

Mr. Sk. Mainuddin Ahmed	Division Chief
-------------------------	----------------

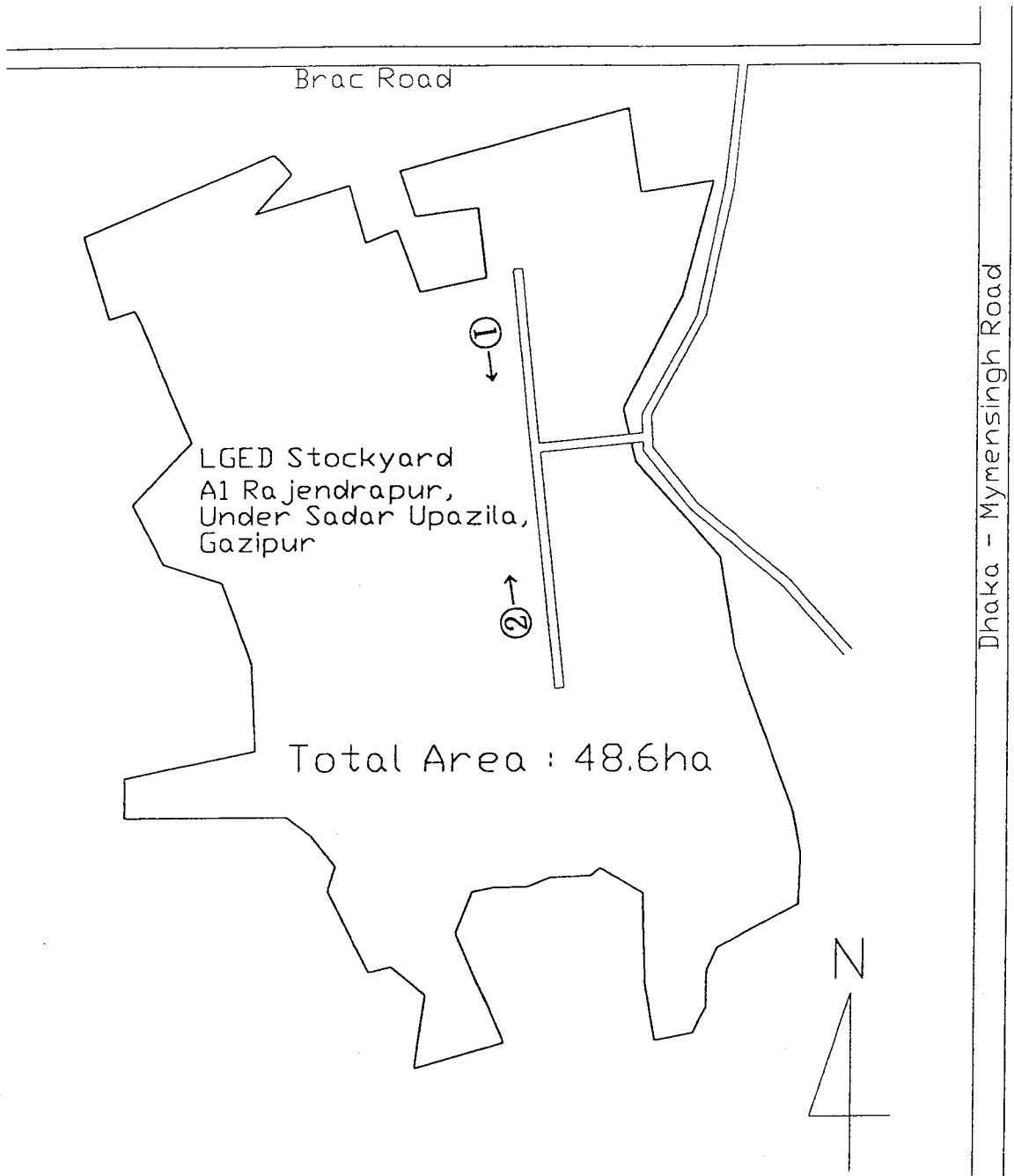
Ministry of LGRD & Cooperative, Local Government Engineering Department (LGED): (地方自治体開発省建設局)

Mr. Md. Monowar Hossain Chowdhury	Chief Engineer
Mr. Md. Shadihul Hassan	Additional Chief Engineer
Mr. Md. Anwarul Huque	Project Director
Mr. Yoshihiro Suzuki	JICA Expert
Mr. Nazrul Islam	Assistant Engineer
Mr. Sainful Islam	Assistant Engineer
Mr. Javed karim	Assistant Engineer
Mr. Zahidul Islam	Assistant Engineer
Mr. Md. Abdur Rqazzaque	Chittagong
Mr. Md. Abutaher Mollah	
Mr. Md. Matiur Rahman	
Mr. Md. Shah Jahan	
Mr. Md. Mostafa Hassan	
Mr. Md. Main Uddin	
Mr. Rafiane Uddin	Cox's Bazar
Mr. Ali Aktar Hossain	
Mr. Sajar Kanti Dej	
Mr. M. Nasir Aziz	Feni
Mr. Bipul Chandra Banik	
Mr. Asadu Zaman	
Mr. Monirul Islam	
Mr. Babu Chitta Ranjan	
Mr. Bashir Uddin Ahmed	Noakhali
Mr. Omar Kanti Masumder	
Mr. Amrita Lal Mojumder	Laxmipur
Mr. Mohammad Salim Sarkes	

Mr. Aminur Rasul	
Mr. Shama Prosad Audhikari	Chandpur
Mr. Naser Uddin Bluriya	
Mr. Rafiqul Islam	
Mr. Saniul Haqul	
Mr. Mohsin Uddin Ahmed	
Mr. Md. Harunor Rashid	
Mr. Md. Abdur Rahim Khan	
Mr. Mir Iliash Moshed	Munshigonj
Mr. Mohammad Rezaul Karim	
Mr. Sharif Ahmed	
Mr. Md. Khorshed Alam	
Mr. Md. Fazle Habib	
Mr. Md. Monimur Rahman	Dhaka
Mr. Shaiful Izlam Shadid	
Mr. Md. Mostafa Kamal Rasha	Moulvibazar
Mr. Md. Joynal Abedin	Habigonj
Mr. Md. Jahidur Rahmankhan	Basrhman Bazar
Mr. Kazi Muzibur Rahman	Comilla
Mr. Md. Azizur Rahman	Narshingdi
Mr. Md. Mohsin	Gazipur
Mr. Md. Abdur Momin Khan	Manikgonj
Mr. Mohammed Zulyaminayn	Faridpur
Mr. Md. Mosarrof Hossain	
Mr. Md. Abdur Razzak	

資料 4. LGED ガジプール県資材置き場

4. LGEDガジプール県資材置き場



鋼桁保管場所予定地

LGEDガジプール県事務所ストックヤード

面積 : 48.6ha

資料 5. バングラデシュ国社会・経済事情

バングラデシュ人民共和国
People's Republic of Bangladesh

一般指標				
政体	共和制	*1	首都	ダッカ (Dhaka) *2
元首	大統領 / シャハブディン・アームド	*1,3	主要都市名	チッタゴン、クルナ、ラジハヤヒ *3
			雇用総数	63,053千人 (1997年) *6
独立年月日	1971年3月26日	*3,4	義務教育年数	5年間 (年) *13
主要民族/部族名	ベンガル人98%	*1,3	初等教育就学率	% (1996年) *6
主要言語	ベンガル語、英語	*1,3	中等教育就学率	% (1996年) *6
宗教	イスラム教88.1%、ヒンズー教10.5%	*1,3	成人非識字率	59.2% (2000年) *13
国連加盟年	1974年9月17日	*12	人口密度	934.77人/km2 (1997年) *6
世銀加盟年	1972年8月	*7	人口増加率	2.1% (1980年) *6
IMF加盟年	1994年4月	*7	平均寿命	平均 58.10 男 58.10 女 58.20 *6
国土面積	144.00千km2	*6	5歳児未満死亡率	104/1000 (1997年) *6
総人口	123,633千人 (1997年)	*6	カロリー-供給量	2,105.0cal/日/人 (1996年) *10

経済指標				
通貨単位	タカ (Taka)	*3	貿易量	(1998年)
為替レート	1 US \$ = 50.56 (2000年 4月)	*8	商品輸出	5,141.4 百万ドル *15
会計年度	Jun. 30	*6	商品輸入	-6,862.1 百万ドル *15
国家予算	(年)		輸入カバー率	2.5(月) (1997年) *14
歳入総額		*9	主要輸出品目	縫製品、ニット製品、冷凍食品、ジュート *1
歳出総額		*9	主要輸入品目	資本財、繊維、原油・石油製品、鉄鋼 *1
総合収支	290.2 百万ドル (1998年)	*15	日本への輸出	113 百万ドル (1998年) *16
ODA受取額	1,009.2 百万ドル (1997年)	*18	日本からの輸入	323 百万ドル (1998年) *16
国内総生産(GDP)	41,419.20 百万ドル (1997年)	*6		
一人当たりGNP	360.0 ドル (1997年)	*6	粗外貨準備額	1,581.5 百万ドル (1997年) *6
GDP産業別構成	農業 23.8% (1997年)	*6	対外債務残高	15,125.3 百万ドル (1997年) *6
	鉱工業 27.4% (1997年)	*6	対外債務返済率(DSR)	10.6% (1997年) *6
	サービス業 48.8% (1997年)	*6	インフレ率 (消費者価格物価上昇率)	3.8% (1990-97年) *6
産業別雇用	農業 男 53.0% 女 75.8% (1990年)	*6		
	鉱工業 10.5% 7.5% (1990年)	*6	国家開発計画	
	サービス業 32.8% 10.8% (1990年)	*6		
実質GDP成長率	4.7% (1990年)	*6		*11

気象	(1961年～1981年平均) 観測地：チッタゴン (北緯22度21分、東経91度50分、標高14m)												*4,5
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均/計
降水量	4.2	14.4	34.6	129.8	233.8	594.3	757.8	558.9	249.7	180.5	46	8.4	2812.4 mm
平均気温	19.8	22.1	25.5	27.7	28.6	27.9	27.6	27.8	28.1	27.6	24.5	20.8	25.7 °C

- *1 各国概況 (外務省)
 - *2 世界の国々一覧表 (外務省)
 - *3 世界年鑑1999 (共同通信社)
 - *4 最新世界各国要覧9訂版 (東京書籍)
 - *5 理科年表1999 (国立天文台編)
 - *6 World Development Indicators1999
 - *7 The World Bank Public Information Center,
International Financial Statistics Yearbook 1998
 - *8 Universal Currency Converter
 - *9 Government Finances Statistics Yearbook1998 (IMF)
 - *10 Human Development Report1999(UNDP)
 - *11 Country Profile(EIU),外務省資料等
 - *12 United Nations Member States
 - *13 Statistical Yearbook 1999(UNESCO)
 - *14 Global Development Finance1999(WB)
 - *15 International Finances Statistics 1999(IMF)
 - *16 世界各国経済情報ファイル1999(日本貿易振興会)
- 注：商品輸入については複式簿記の計上方式を採用しているため
支払い額はマイナス表記になる